

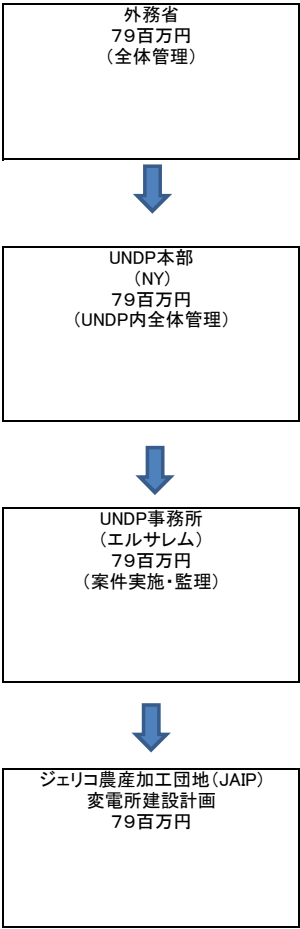
平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	国際連合開発計画（UNDP）（日本・パレスチナ開発基金） （任意拠出金）			担当部局庁	中東アフリカ局			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度	昭和53年度開始・未定			担当課室	中東第一課			課長 長岡 寛介	
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅶ－3 国際機関等を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 （具体的な条項も記載）	外務省設置法第4条第3項外務省組織令第59条第5項			関係する計画、通知等	第20回国際連合総会決議2029(XX)				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	「日本・パレスチナ開発基金」を通じて、中東和平実現の唯一の方途である、イスラエルと共存共栄するパレスチナ独立国家樹立に向けての「国作り」、「人づくり」努力を支援することで、パレスチナ人の和平プロセスへの支持と取組を維持・強化し、和平実現への適切な環境を醸成する。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）	本件基金では、UNDPエルサレム事務所を通じ、パレスチナ自治政府とも協議を行い、先方のニーズを踏まえつつ、二国家解決を念頭に置いた、パレスチナの民政安定と、パレスチナの国造り、人づくりを支援するため、中・長期的な観点から、パレスチナの行政能力向上、経済開発、改革支援、双方の信頼醸成に資する案件を形成し、実施する。案件実施の際には、プロジェクト関連物資及び工事の調達・請負契約は現地パレスチナ人企業や労働者を積極的に活用しており、パレスチナ人の能力強化、パレスチナ経済にも裨益する援助形態を取っている。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 （単位：百万円）	予算 の 状 況		当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
			補正予算	—	—	—	—		
			繰越し等	—	—	—	—		
			計	100	97	79	70		
	執行額		100	97	79				
	執行率（％）		100	100	100				
成果目標及び成果実績 （アウトカム）	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 （25年度）
	パレスチナの民生安定と経済開発支援 パレスチナ自治区のGDP（注：本拠出金の目的であるパレスチナの「国作り」「人づくり」は具体的な成果指標を掲げることが難しいため、GDPを参考指標としている。）			成果実績	百万ドル	7395	6802	7000	7000
				達成度	％	—	—	—	
活動指標及び活動実績 （アウトプット）	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施事業数			活動実績 （当初見込み）	事業数	2	1	1	—
						(1)	(1)	(1)	
単位当たりコスト	79,000(千円／1事業)			算出根拠	24年度拠出額／実施事業数				
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	拠出金		70						
計		70							

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	我が国はパレスチナの経済自立化支援の一環として、ジェリコ及びヨルダン警告の経済社会開発を目的とする「平和と繁栄の回廊」構想をパレスチナ、イスラエル、ヨルダンとの域内協力のもと進めている。平成24年度案件は同構想内の農産加工団地の運営に必要な事業であり、優先度は高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	資金はUNDP事務所管理の下、適切に執行されており、四半期毎に在イスラエル大使館に対して予算執行状況とともに実施状況を記した報告書が提出されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	近年、日パ基金は上述「平和と繁栄の回廊」構想関連事業に活用されており、類似の実績をあげている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	UNDPエルサレム事務所より提出される新規案件のプロジェクト・ドキュメントについて、同じ予算でより多くの成果、もしくはより少ない予算で同等以上の成果を引き出せないか、案件内容を精査する。本件事業については、積算を引き続き適切に確認の上、プロジェクトを承認していく。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	110	平成23年	115	平成24年	138

個別事業名:国際連合開発計画(UNDP)(日本・パレスチナ開発基金)(任意拠出金)

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



個別事業名:国際連合開発計画(UNDP)(日本・パレスチナ開発基金)(任意拠出金)

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A. UNDP事務所(エルサレム)			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	ジェリコ農産加工団地(JAIP)変電所建設計 画	79			
	計		79	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名:国際連合開発計画(UNDP)(日本・パレスチナ開発基金)(任意拠出金)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	UNDP事務所(エルサレム)	ジェリコ農産加工団地(JAIP)変電所建設計画の実施・監督	79	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					